



新中期経営計画

(2011～2013 年度)

日本アルコール産業株式会社

2011 年 2 月

新中期経営計画（2011～2013 年度）

2011 年 2 月 25 日

I. アルコール事業

『更なる品質の向上の追求と製造コストの低減化を図る努力を推し進め、安全で安心な商品の安定供給に努める。』

1. 品質の向上

- (1) 持続的・選択的な品質向上の実現
- (2) 官能評価のシステム化
- (3) おいたち管理、Qibix 専用ロジスティックスなどのグループ品質管理の徹底

2. 原料調達の安定化

- (1) 年間契約とスポット契約の組み合わせによる低廉・安定調達の継続
- (2) 原料受入費用の削減

3. 供給コストの低減

各工場における原単位の向上を図りつつ、サプライチェーン最適化の観点から持ち届けコストの削減を推進する

II. 関連事業

『集中的に経営資源を投入し、事業の拡大、全社収益の増加を牽引する。』

1. 設備投資の円滑な実施

アルコール製品の備蓄倉庫を整備し、事業基盤を確立する

2. アルコール製品

- (1) 手指消毒剤キビキビをコア商品と位置づけ、企業向け備蓄保管の展開と回収消毒剤処理事業をも確立する。
- (2) フレキシブルな生産体制の確立と製造コストの低減を図る

3. 発酵製品

- (1) 既存市場における販売の拡大
- (2) 国内全域及び海外展開を見据えた新規ルートの開拓

4. 不動産事業

保有する資源を有効に活用した安定収益の確保と遊休資産の売却

Ⅲ. 技術力の強化

『工業用アルコール分野における COE を目指した技術センター（仮称）の設立を進める。』

- (1) 船橋拠点：商品開発力や分析能力等の飛躍的な向上
- (2) 鹿島拠点：新たに連続蒸留試験装置を設置し、製造プロセスの改革を推進

Ⅳ. 人材力の向上

1. 改革活動への参加を通じ、積極的な社員意識の涵養
2. 技術検討会等を通じた技術力の向上
3. グループの計画的教育・訓練・研修への積極的参加
4. 技術系社員の長期計画的採用・研修

Ⅴ. 全社数値目標

(営業利益等の 2013 年度目標)

	全社
営業利益目標	6 億円以上
その他	自己資本 300 億円以上

※完全民営化を念頭に置き、今次計画期間末までに上場企業並みの収益力及び資本力を築き上げ、次期計画期間内における配当開始を目指す

注意事項

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいて作成しております。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、為替レートなど、潜在的风险や不確実性があるものを含んでおります。

従いまして、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。